



桂 九雀

かつら くじゃく

- 本名 室屋 聖
(むろや とおる)
- 生年月日 昭和35年12月2日
- 出身地 広島県広島市

<経歴>

- 昭和54年 3月 故桂 枝雀に入門
- 昭和54年 6月 茨木市唯敬寺「雀の会」にて初舞台
- 昭和59年 放送作家、東野博昭が旗揚げした「カラードシアター・ヘテカラ」で演劇の初舞台。以降ヘテカラ全公演に出演
また、劇団リリパットアーミー、劇団MOTHERなど関西小劇場や商業演劇などへの出演も多数
- 昭和59年 4月 大阪・太融寺にて「九雀パフォーマンス」という自身の落語会を6回開催
- 平成2年 大阪・梅田の映画館「シネマヴェリテ」にて「九雀らくごヴェリテ」というレイトショーを開催
- 平成5年 南座・春の名物公演となった「歌舞伎鑑賞教室」の第一回スタート
一部「南座と歌舞伎」のご案内役を南座改装で閉場するまでの23年間務める
- 平成7年 「九雀の可能性」という3席全てネタおろしという勉強会を開催
- 平成8年 「中国琵琶と落語の会」開催。以降上方落語独特の演出「ハメモノ」を和楽器以外で演奏する
新作落語の会を不定期に企画、公演している
- 平成9年 10月 ラジオ大阪「桂九雀のワイワイじゃーなる」パーソナリティとなり、平成15年3月まで務める
- 平成13年 「月並み九月九日九雀の日」開催。平成23年12月25日103回で一旦終了
現在は不定期落語会「いきなり九雀の日」として継続開催中
- 平成17年 九雀考案・落語的手法の演劇「嘶劇(はなしげき)」を開始
- 平成25年 セントシディアンサンブルと連携した吹奏楽落語「新出意本忠臣蔵」初演、以降各地で再演を重ねる

<趣味>

将棋(アマチュア三段)、クラリネット

<九雀よりコメント>

インターネット、コンピューター、CDにDVDとデジタル機器音が飛び交う時代だからこそ、
ナマの声、ナマの楽器の暖かさを大事にしたい、これが基本です。
大収容ではないナマ声の届く劇場で、その分、数多くの落語会を作る。
「数でこなす」落語家を目指しています。

<所属>

株式会社 米朝事務所
〒530-0047 大阪市北区西天満5-9-16-201
TEL 06-6365-8281
FAX 06-6365-6369
<http://www.beicho.co.jp/>